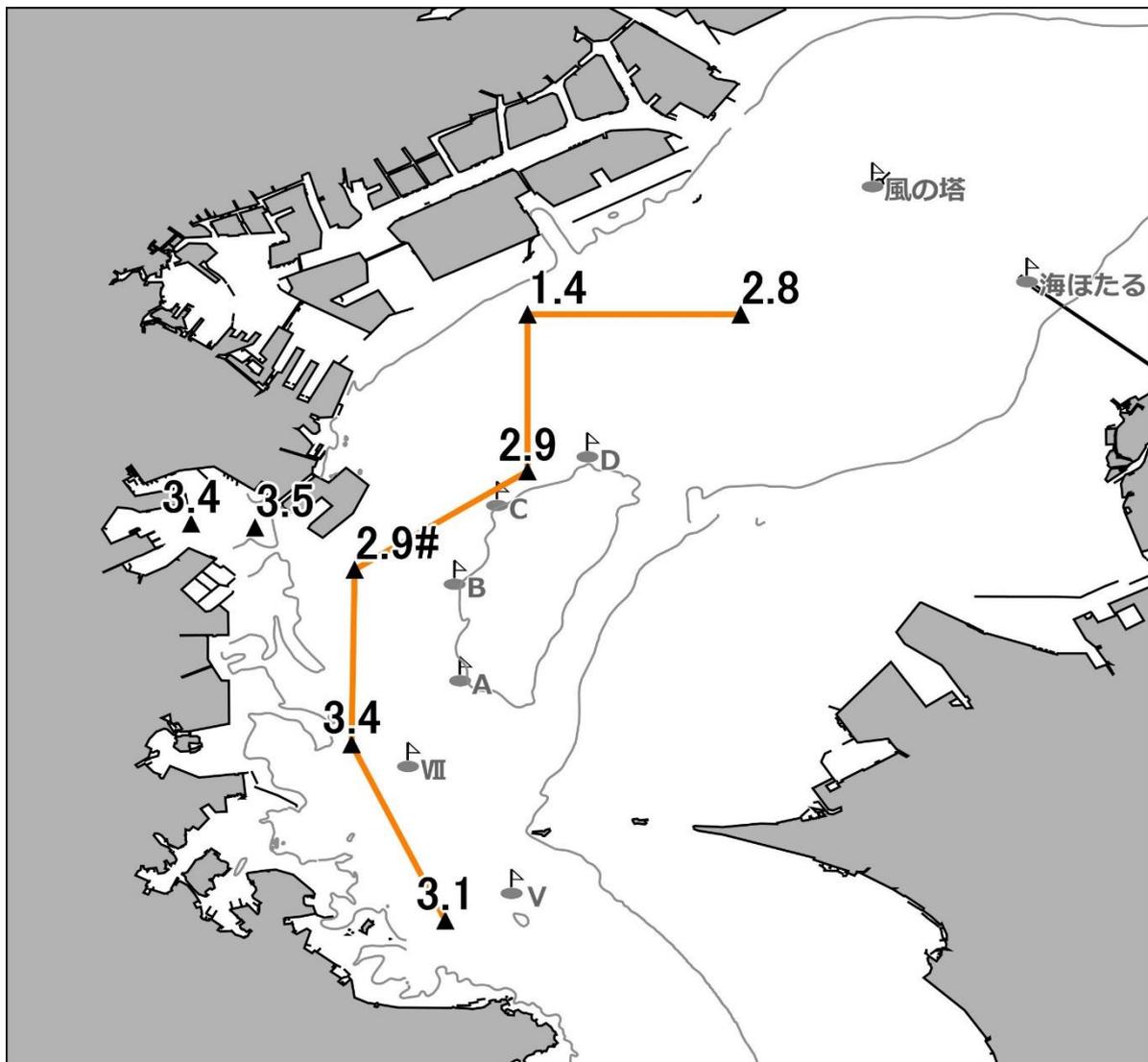


東京湾溶存酸素情報

漁業調査指導船**江の島丸**により調査を実施しました。

- 水温は、表層で 23℃台、底層では 16～18℃台です。
- 塩分は、表層で 29～31 台、底層では 34 台です。
- 前回の調査に比べ、溶存酸素量が広範囲で改善されていましたが、扇島沖の観測点では約 15m の厚みの**貧酸素水塊 (≦2.5ml/L)** が見られました。
- 本牧沖の**#**の点では中層に**貧酸素水塊**が分布していました。

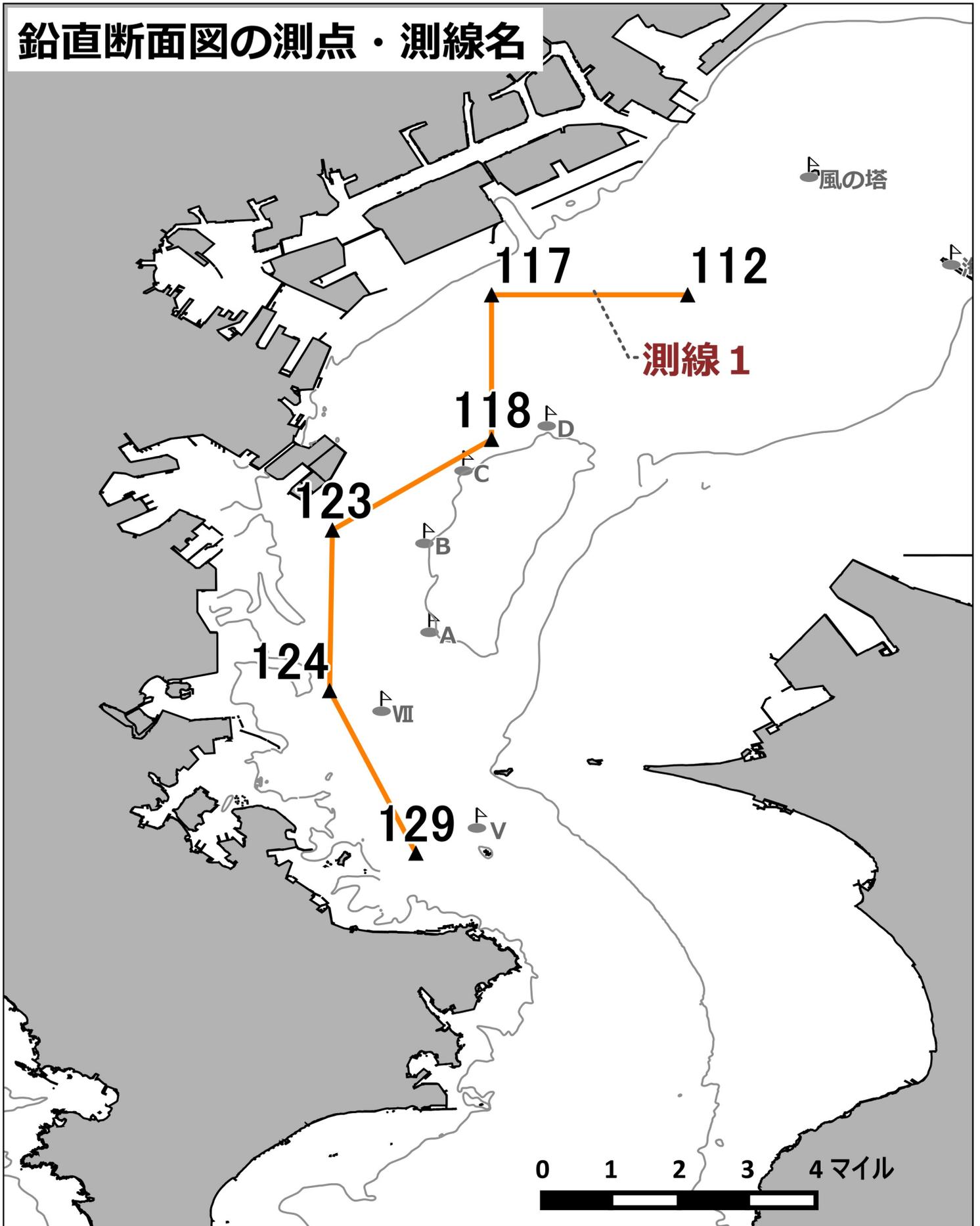


底層の溶存酸素量(ml/L)

発行 神奈川県水産技術センター
企画資源部 海洋資源担当
電話 046(882)2313

今回の溶存酸素量の改善は、8月末から吹いた北風によって、底層の貧酸素水塊が湾奥に移動したためと考えられます。船橋～千葉では9月1～3日に青潮が見られたようです。

鉛直断面図の測点・測線名



※等深線は水深20m

神奈川県水産技術センター

神奈川県水産技術センター 溶存酸素情報

2017年09月04日の観測結果 浅海定線調査

